

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)	相模原市駐車場ビジョン検討委員会		
事務局 (担当課)	路政課 電話042-769-8258 (直通)		
開催日時	令和4年11月22日(火) 10時～11時40分		
開催場所	ユニコムプラザさがみはら セミナールーム2		
出席者	委員	8人(別紙のとおり)	
	事務局	6人(路政課担当課長、外5人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
議 題	<p>(1) 前回の振り返り</p> <p>(2) 駐車場ビジョン(整備計画部分)について</p> <p>(3) その他</p>		

## 議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。

### (1) 前回の振り返り

前回の基本計画（案）の内容や変更点について確認し、ご意見いただいた。

(兵藤委員長) かつては、駐車需要が超過することを想定して計画を策定していたが、人口減少・免許の返納・大型店舗の立地といった社会情勢の変化により、駐車場の利用者が減少傾向で、供給超過に逆転しているため、今後どうすべきか考えることが必要である。

(兵藤委員長) 前回の資料から最新の統計へ更新し、数値誤り等も修正したとのことだが、他の変更点等はあるか。

(事務局) 前回、駐車場基本方針の方策Ⅱで、「駐車場を適正に配置する」という少し消極的な表現を用いていたが、前回いただいた「まちの特色等と合わせて駐車場の施策も考えていく方が良いのではないか」というご意見を踏まえて、「まちの特色を捉えて」という言葉に変更した。それに合わせ、施策部分も「まちの特色を捉えた駐車場整備」に変更した。

(兵藤委員長) 了解した。ほかに基本計画の修正案について、ご意見ご質問は、あるだろうか

(大木委員) 相模大野立体駐車場は伊勢丹が営業していた頃は満車になることもあった。都市計画駐車場に位置づけられているため車庫証明の出る月極駐車場として使えないと承知しているが、それが利用できるようになれば利用が増やせるのではないか。

屋上階と地下階は利用が少なく現在閉鎖しているが、例えば屋上はサッカーの練習コートやビアガーデン、バーベキュー場への転用すればどうかという地元の意見もある。ゼロカーボンを目指して太陽光発電設備を置けば駐車場の電気代もコストが下がるのではないか。隣接する中央公園を使い勝手を良くする話も聞いているし、図書館やグリーンホールを利用する人のことも考えると、令和7年度から大きく状況が動き始めるのかと思う。

(兵藤委員長) まずは法令等のしぼりにとらわれず自由な発想での意見が出せればよいと思う。

### (2) 駐車場ビジョン（整備計画部分）について

駐車場ビジョンの整備計画部分について事務局より説明を行った後、質疑応答や意見交換を行った。

(兵藤委員長) 将来の需給予測の元となる駐車原単位について、普通は業務系用

途の方が商業系よりも小さいはずだが、相模大野は逆転しているように見える。原単位の確認については、別途私と事務局で行うこととして、供給過多である現況は明らかであるため、それを踏まえて皆様からご意見をいただきたい。

(渡邊委員) 今までの駐車場整備計画は、将来需要を予測し、整備が必要な台数を算出している。今回は現在の駐車需要をベースに考えているが、今の実態を捉えたものを将来にわたっての需要予測に設定して良いかどうかご議論いただければと思う。

(兵藤委員長) 私は数十年交通の需要予測を専門としているが、2010年ぐらいから、減少量の予測をする必要が生じ始めた。しかしそのシナリオを数字で定量的に表すのは非常に困難である。

相模原市は、もちろん減少一方だというわけではないが、将来的に、今よりも減少し、よくても現状維持だと思われる。

(大木委員) 駐車需要を床面積で計算していると言っていたが、相模大野立体駐車場の地下などは閉鎖をして全く使わない場所になっている。こうした部分も床面積として計算しているのか。

(事務局) 駐車需要を予測するための床面積は、業務用途と商業用途としており、駐車場はどちらでもないため計算に加えておらず、影響しない。

(大木委員) 将来、もし橋本のまちづくりの方で変化があったときに新しい駐車場を設置する場合には、市が都市計画駐車場を設置するのか。

(事務局) 現在新たな設置は考えていない。既に供給の方が多い現状の中では、附置義務駐車場等で民間が設置する部分と、市営駐車場の余裕部分で足りるものと考えている。

(加藤委員) エリアの中で、公共が整備するべき台数等が出てくると「都市計画駐車場が何台必要なのか」「相模大野は3つの都市計画駐車場があるが、供給が多い現在、どの都市計画駐車場を残すのか」という議論に移ると思う。今はその前の段階の、将来どのくらいの台数が必要なのかというところを議論している。その議論が終結すれば、自ずと都市計画駐車場が必要かどうかという議論が出てくると期待しているが、如何か。

(兵藤委員長) マクロ的だが、そういうプロセスしか取りようがない気がする。

(安岡副委員長) 橋本地区はリニア新幹線が来る前提で話をしているが、リニア新幹線の予定も遅れているようだし、本計画の期間に来るとは言い切れないのではないか。

(事務局) 現在相原高校という高校があった部分がすでに移転して空地になっており、仮にリニア新幹線が遅れても土地区画整理事業そのものは進められるため、今後変わることを想定した上での議論となる。

(安岡副委員長) 静岡は、新幹線が来て急に発展した。駐車需要が減少傾向にあることは分かるが、橋本地区も減少すると断定はできないと思う。駐車場を減らして不足したら悲惨な状況になるため、他は賛成だが、そこだけは心配である。

(渡邊委員長) 相模大野地区は、伊勢丹相模原店跡地に開発される商業店舗の大体の大きさが発表されているので、大きな誤差はないと思うが、橋本の将来需要予測は確定なのだろうか。

(事務局) 具体的にどういう建物が作られるというところまでは分からず推測しているので、現在で確定とは考えていない。もう少しまちづくりが進むと見えてくると思うが、どちらにしても、計画期間である10年間全く変えないとするのではなく、5年後に見直しを予定している。大きな変更があり数値が変わりそうであれば、予測を変更し、改めてご意見を頂ければと思っている。

(渡邊委員長) 相模大野地区は、需要予測台数を決定するが、橋本はまちづくりの進み方に応じて予測を変更するかもしれないこと、相模原についても、今後まちづくりが進んだ決まった時点で予測するということを理解した。それならば、どこかに明記すべきだと思う。

(加藤委員長) 私は将来のまちづくりの予測はせずに数値を含めていないのかと思っていた。仮の推計値であっても数値は入っていた方がよい。またそのことが分かるようにしておいた方がよい。

(兵藤委員長) 本計画は令和9年度に一度見直すという記載があり、令和9年は2027年、リニア新幹線開業予定の年だが、先ほど話が出た通り遅れそうなので、おそらく5年後の見直し時点でもまだ最終確定ではないという可能性が高いと思っている。数字の不確定要素を固めることは出来ないが、将来それを反映した形で計画を見直すということは計画内の様々な場所に明記しておけばいいと思う。

(事務局) 分かりやすく記述するように工夫する。

(大木委員) ゼロカーボン(脱炭素)を目指していくなら、駐車場に充電設備を設置するというような記述が必要だと思う。EVの普及促進、再生可能エネルギーの使用や太陽光発電設備の導入といったことは書かれているが、例えば、市営駐車場に充電設備を何台分、何年までの間に用意するとか、そういった具体的な内容がある方がよい気がするが細かすぎるだろうか。

(兵藤委員長) 電気自動車明らかに増えることは、この数年の傾向から間違いないが、充電設備を何台用意するべきかという予測は難しいかと思う。

(大木委員) 国の政策で、ゼロカーボンに向けての補助金をつけるという制度があるらしい。大野南地区まちづくり会議の中でそうした説明があり、近隣の大学

や商店街も協力する意向があり、そうした動きがある中で、もう少し充実という  
か、強調した記述があると良い。

(事務局) どこまで書けるか確認し、書ける範囲で書かせていただきたい。

(兵藤委員長) 46ページについて、脱炭素に関するイメージイラストがある方  
が良い。

(安岡副委員長) 43ページ施策2の将来の変化に対応というところだが、例に  
出している新しいモビリティは既にある話なので、少し古いと思う。その先の話  
を考えていただきたい。

ここ数年で自販機もとても進化しており、クリーンエネルギーで充電する間、  
利用者が使える自販機を置くなどの対応もあるかと思う。需要は変わってくる  
と思うが、それに対応できるようにしていただきたい。

(安岡副委員長) 最近、気候変動による大雨対策等で、駐車場の2階部分なら水  
浸しにならないからと逃げてくる方もいる。また、最近では、北朝鮮から頻繁に  
ミサイルが飛んでくるので、地下駐車場をシェルターの的に使うといった形も考え  
られる。先を見越した、守りの部分と攻めの部分を何かしら入れてほしい。

(兵藤委員長) 思い付きだが、施策1の④と施策2の②を両方合わせて、自動配  
送ロボットの拠点といった利用も考えられる。自動配送ロボットはロボットの拠  
点をどこかに作らないといけなくて、こういう場所は候補となる。東京海洋大学  
のそばの会社が実験しているが、こういったアイデアを盛り込んでいきたい。

(大木委員) 中央区も南区も、神奈川県から自転車事故多発地域と長らく指定さ  
れていると思うが、安全安心を考える中で、大野南地区まちづくり会議等で、「相  
模大野立体駐車場の使われてない地下に、雨の日も使える場所として、子供たち  
から大人も含めて、交通公園のように自転車のルールを学ぶ、場所を作ったら如  
何か」という声も出ている。もう少し立体駐車場の多目的化を謳っていただくと、  
そういった転用も出来るのかと思う。特に南区はその自転車事故多発地区地域の  
ほかに、9月から高齢者交通事故多発地区ともう一つ指定されて“交通事故が多  
い場所”になっている。安全安心の観点で駐車場の利用の仕方が何かあれば良い  
と思っている。

(兵藤委員長) 様々な利用については、いろいろな規制があるため直ぐには難しい  
かもしれないが、そういう方向性について書ける範囲内で書くと良いと思う。

いただいた意見を踏まえ、素案を修正することとした。

(3) その他

(事務局) 将来の駐車需要予測の数値について兵藤委員長と事務局関係者等で調整し、修正内容については、次回の検討委員会(書面開催)で確認したい。

次回の検討委員会は主に市営駐車場の経営戦略についての議論が中心で、実際に集まっていたのは、前回決めた部会の方々となる。(事務局)

(兵藤委員長) 次回の第4回検討委員会は書面開催、部会としては第1回、来年の1月24日午前10時から橋本公民館で開催の予定である。

以上

## 相模原市駐車場ビジョン検討委員会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	兵藤 哲朗	東京海洋大学 海洋科学技術研究科 研究科長	委員長	出席
2	安岡 寛道	明星大学 経営学部 経営学科 教授 ／中小企業診断士	副委員長	出席
3	大木 恵	相模原市自治会連合会 理事		出席
4	古橋 裕一	相模原商工会議所 商業部会長		欠席
5	大宮 誠	公募委員		出席
6	栗原 和彦	国土交通省関東地方整備局 相武国道事務所長		出席
7	齊藤 英樹	神奈川県警察本部交通部駐車対策課長		代理出席
8	加藤 宏美	相模原市都市建設局まちづくり推進部長		出席
9	渡邊 建太郎	相模原市都市建設局土木部長		出席